

その後の相場は？

(2017年11月24日)

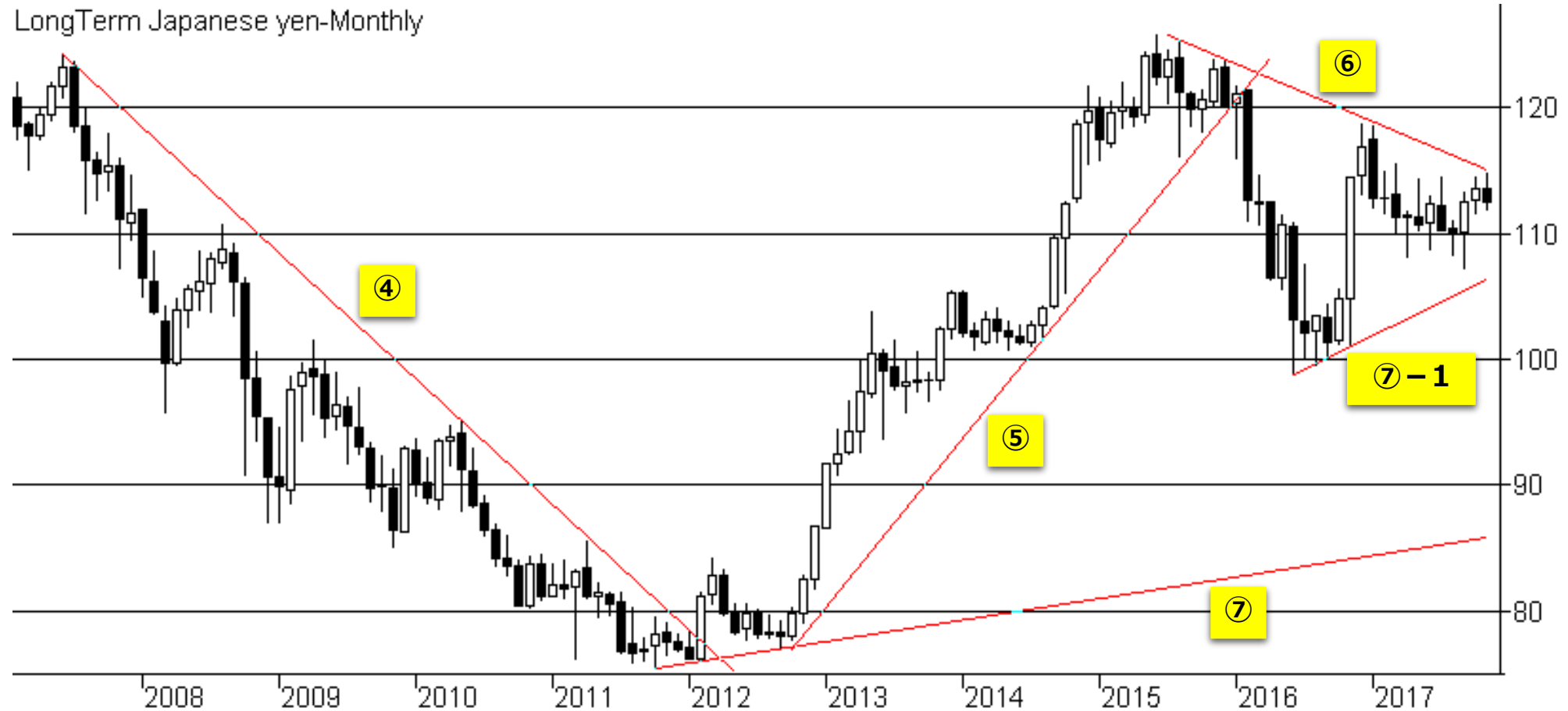
(株)ワカバヤシ・エフエックス・アソシエイツ

セミナー資料から
トレンド分析(ローソク足・月足)
中長期の相場はどちらに向いているかトレンドを探る。
上げ下げトレンドの期間はどの位続いているか？



ドル/円の月足のその後(2017年11月21日現在)

11月足は途中までですが、陰線の気配を漂わせ、上値は⑥の抵抗線で止められています。⑦-1は106円60銭～80銭に位置しています。

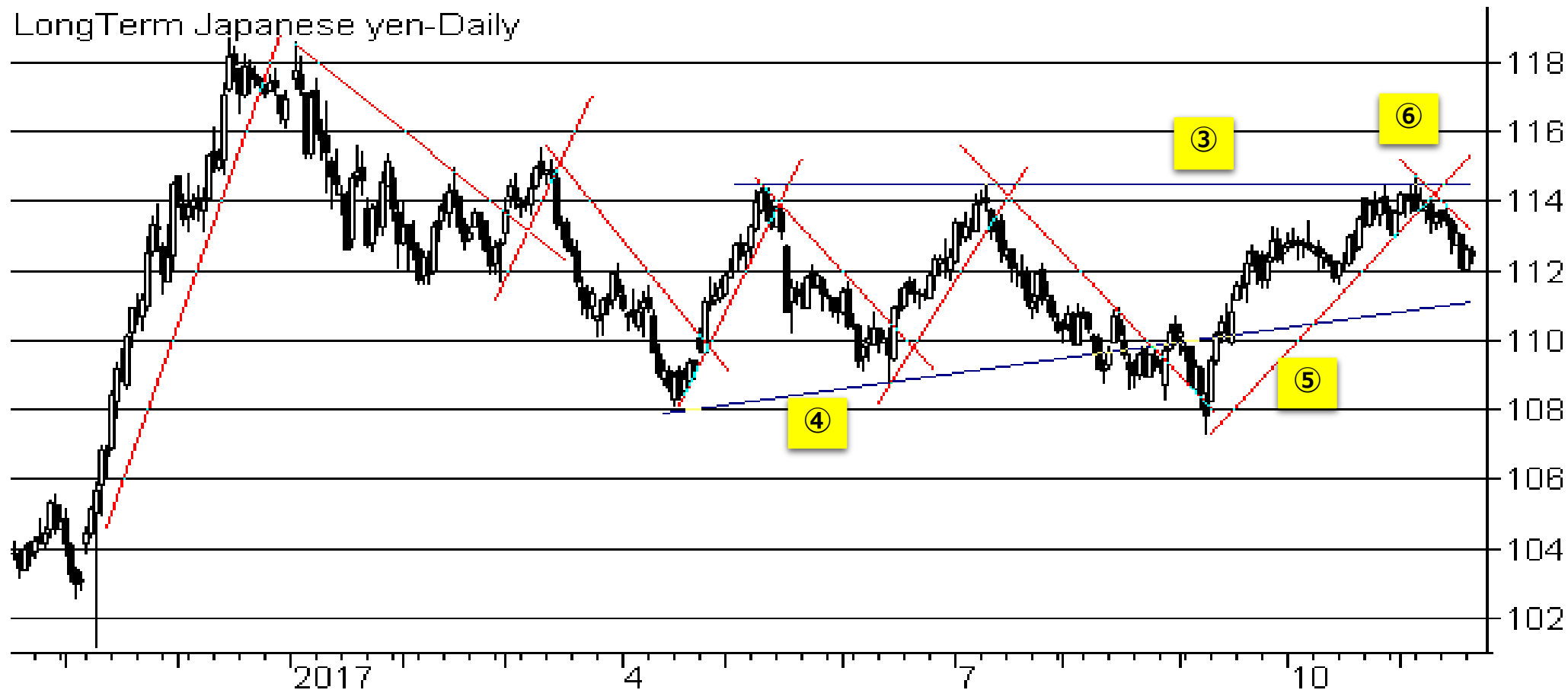


セミナー資料から
トレンド分析(ローソク足・日足)1
短期の相場はどちらに向いているかトレンドを探る。
赤はトレンドラインだが、青は比較的長めに対応



ドル/円の日足その後(2017年11月21日現在)

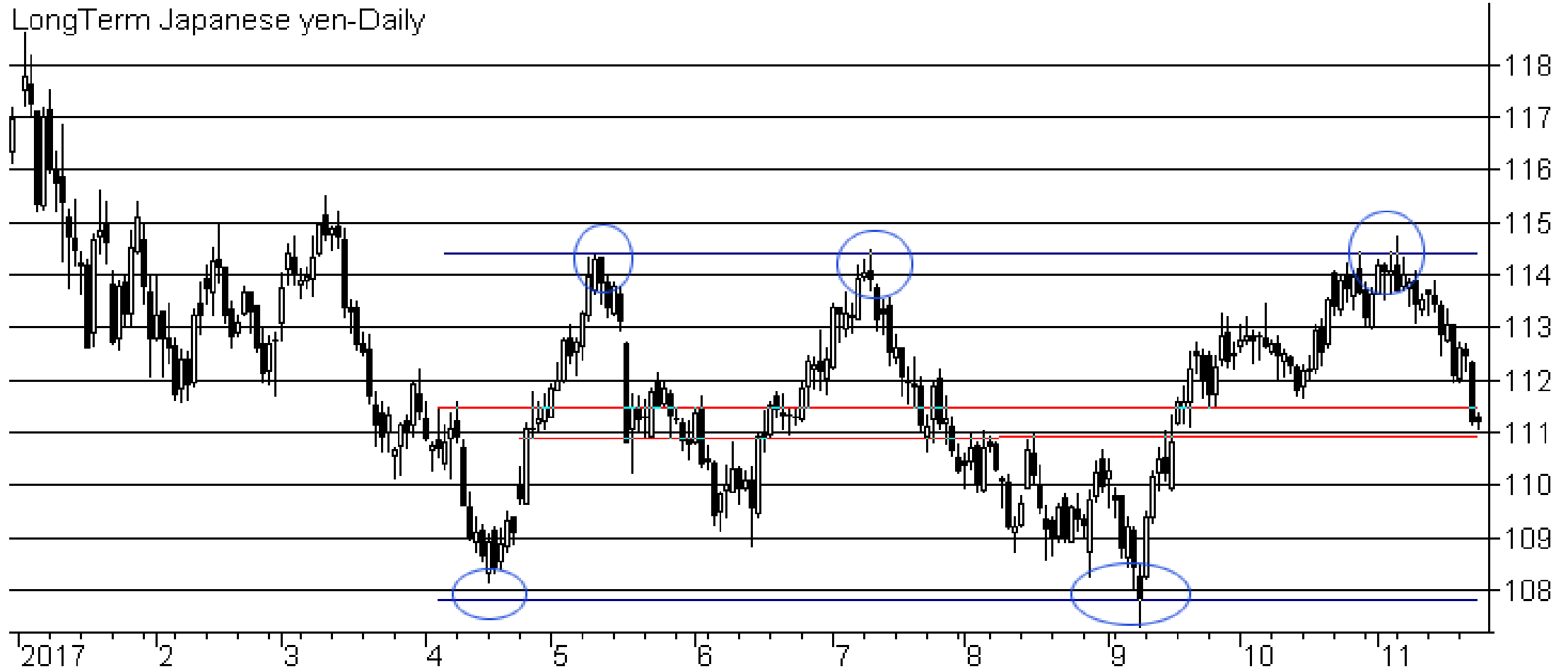
③の抵抗線に止められて、⑤のサポートを抜いているので、ドル安リスクが高くなっています。当面は④のサポートラインで止まるかがポイントで、抜けた場合は④と⑤のスタート時点108円が視野に入ります。



ドル/円日足(2017年11月23日現在)・・・レンジ幅が変わるか？

大きなレンジ108円～114円50銭の中間緩衝域である赤のゾーンにいます。

上限にいる滞空時間が長かったので、111円を切り、108円方向の可能性が強くなっています。



セミナー資料から
ユーロ/ドル(月足)

③の下抜け後、現在は③までの戻り。現状ではP&Fの垂直カウンティングの戻りと一致。
③を越えると①1.29や②1.31が見えてくる

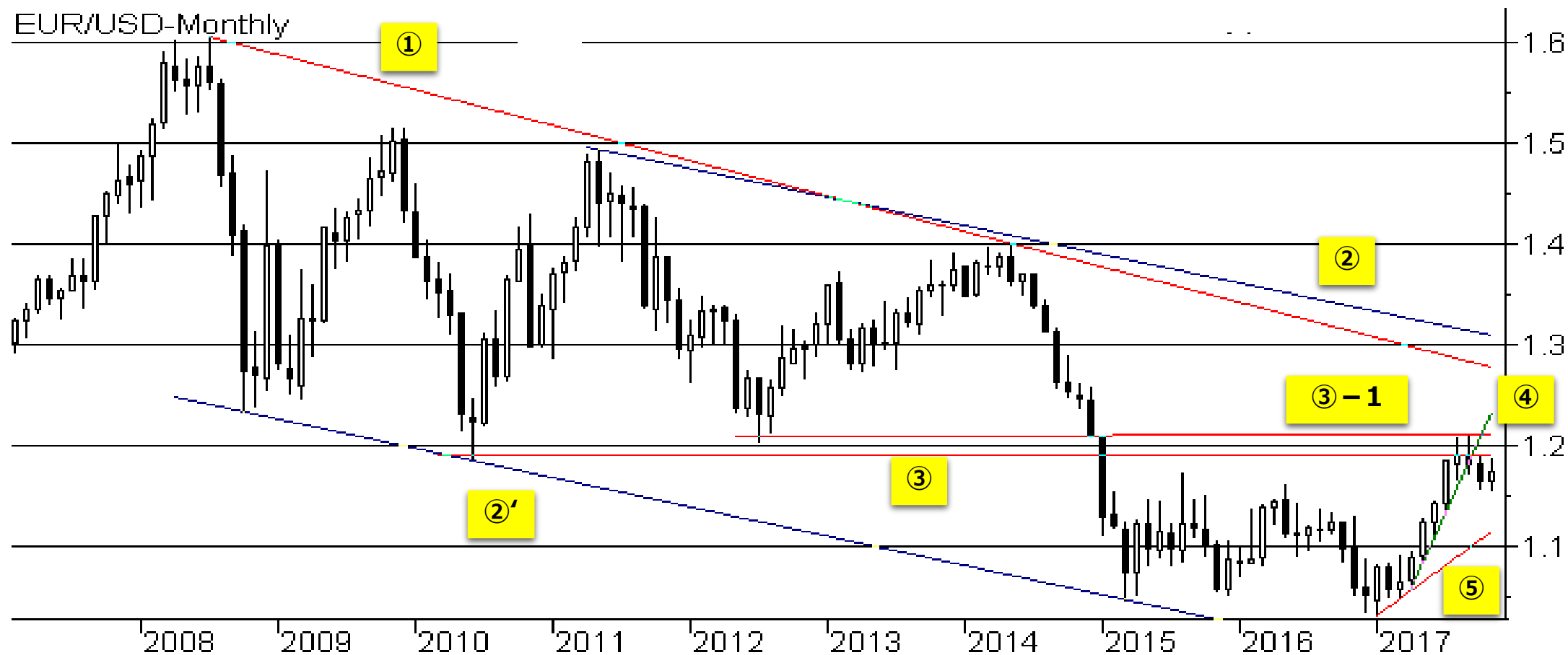


ユーロ/ドルの月足その後(2017年11月21日現在)

結局③の抵抗線を実態で抜けず、過去の下値トライした③-1で完全に止められました。

現在は緑の④を下抜き、最大で⑤までの下落余地があります。

逆に③-1を上抜けば、②が視界に入ります。

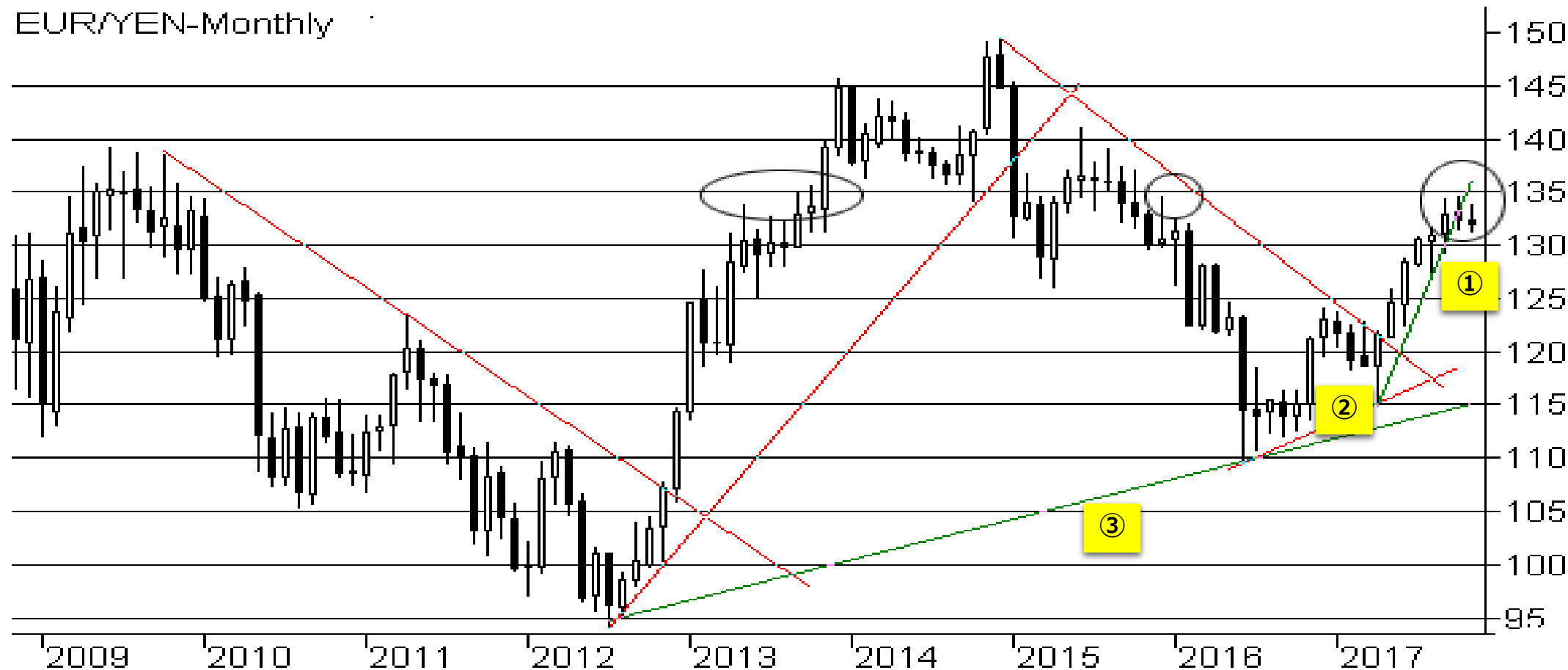


セミナー資料から
ユーロ/円月足
2010年から3回大きなトレンドが変わる(青の○印で確認)



ユーロ/円の月足その後(2017年11月21日現在)

長期ではユーロ高を維持していますが、過去の高値135円で止められました。短中期では①を下抜けたことでユーロ高調整入りです。押し目余地は②の120円割れ、③の115円付近が目安になっています。サポートラインは切り上がっているなので、あくまで現在のレベルです。



セミナー資料から

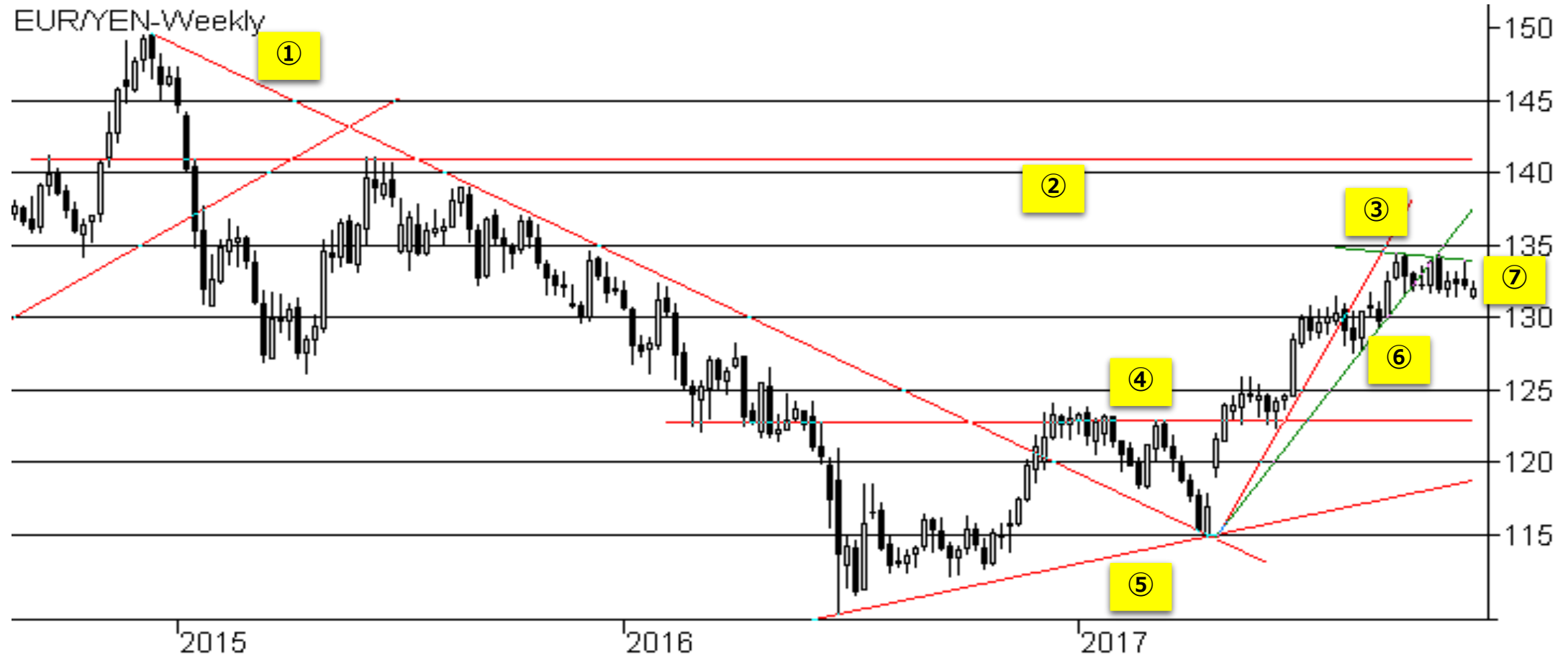
ユーロ/円4(ローソク足・週足)

上昇ライン③を下抜き調整局面入り。次のサポートは④(前頁の①)、場合により⑤が狙い目になる。



ユーロ/円週足その後(2017年11月21日現在)

一度下抜けた③の抵抗線まで戻り上値をやったが、再度⑥のサポートを下抜け。
⑦を抜き返さない限りはユーロ高下の調整が続きます。



セミナー資料から

豪ドル/円月足チャート

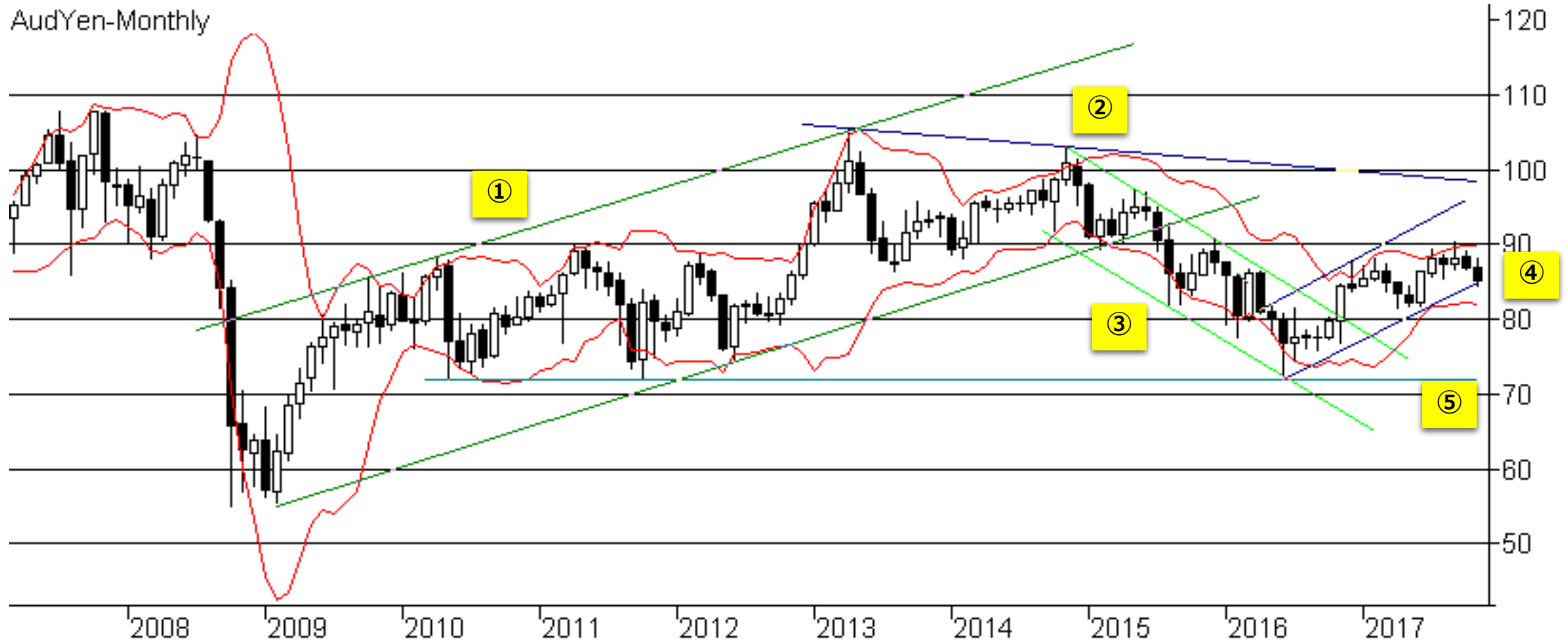
長期は①を下回ったことで②が抵抗線で、③の豪ドル安トレンドライン。

現在は一度上抜き④のトレンドライン、加えてボリンジャーバンドの上下限越えを確認



豪ドル/円月足その後(2017年11月21日現在)

依然トレンドライン④内に留まっているが、下抜くか、トレンドラインを維持できるか
正念場。仮に下抜けた場合は⑤まで見ておく必要がでてきます。



豪ドル/円週足で検証(2017年11月21日現在)

既に週足では豪ドル上昇トレンドラインを下抜き、当面は赤いラインの83円程度までの下押し余地が広がっている。



相場参入のタイミング

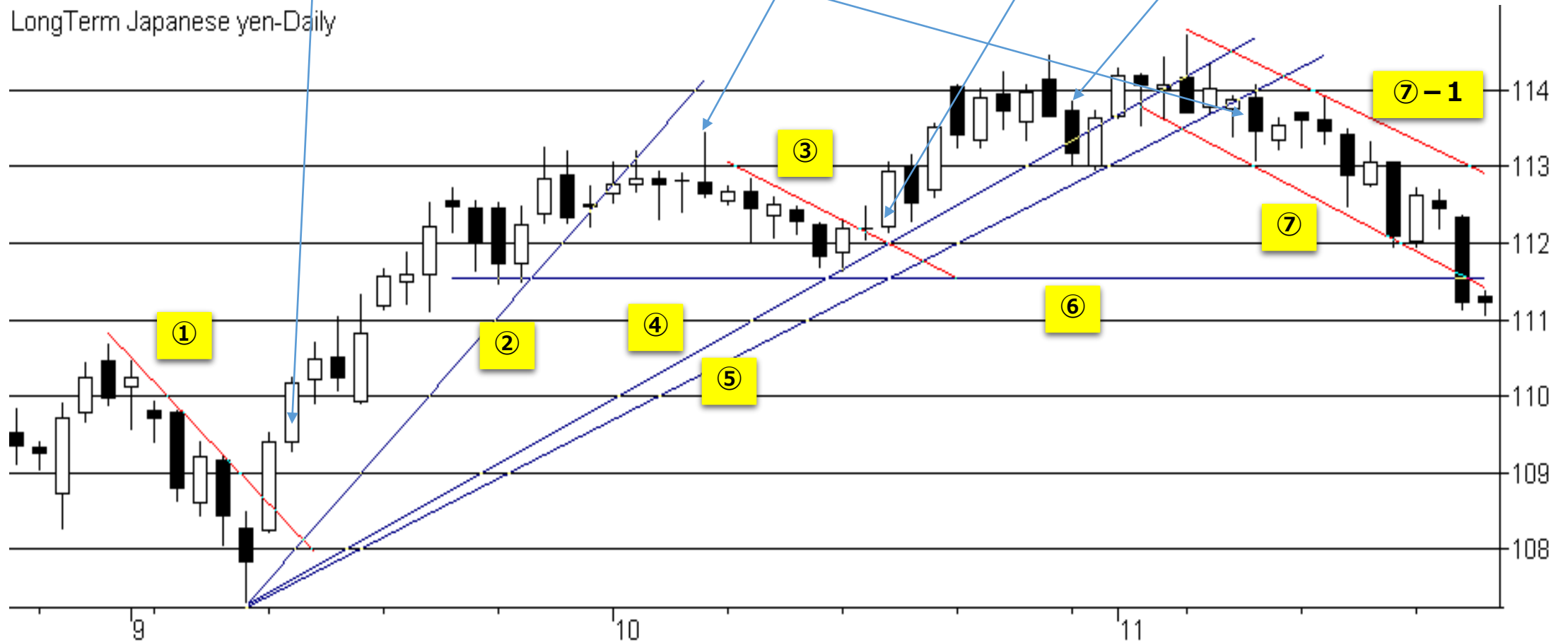
ワカバヤシエフエックスアソシエイツ

(2017年11月24日)

ドル/円日足チャート

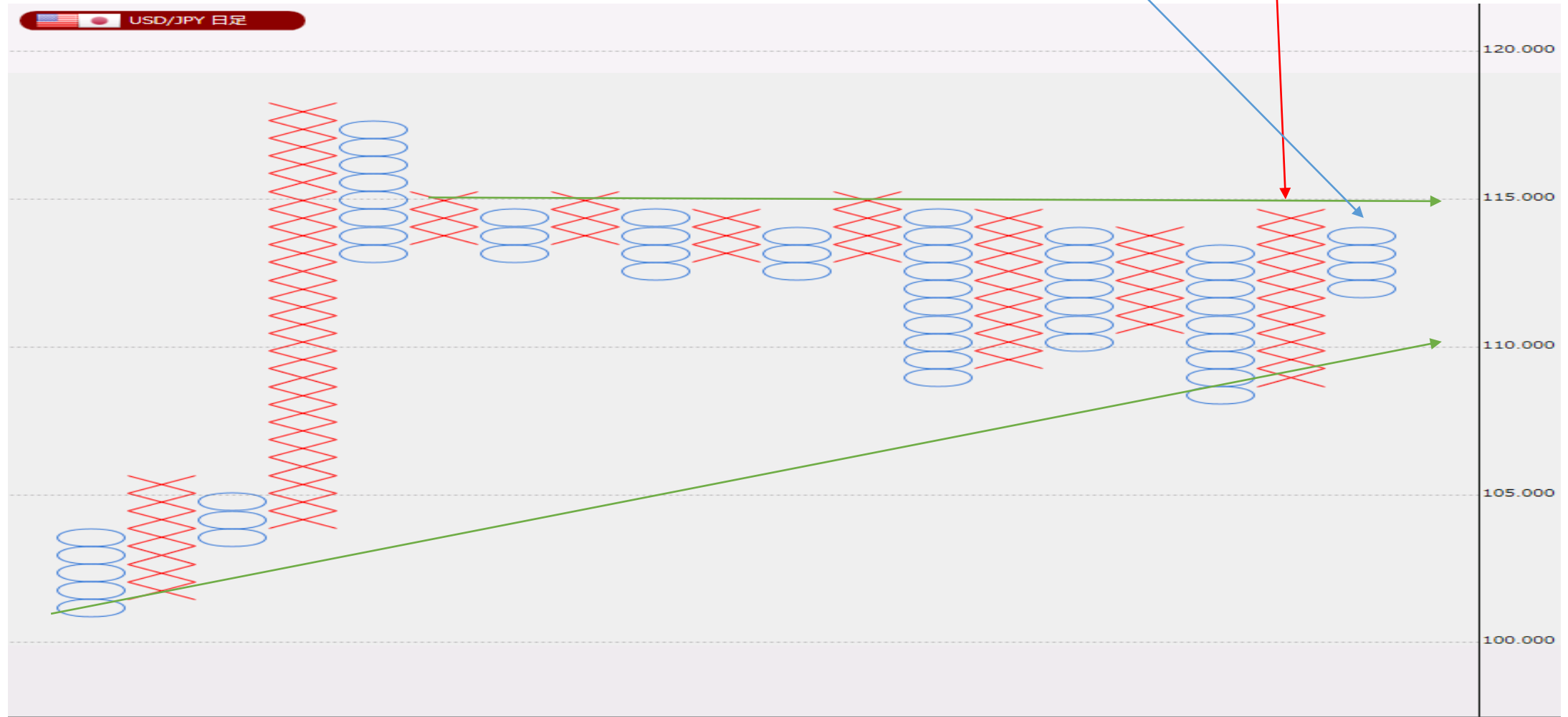
①の抵抗線突破で買う、②のサポート抜けるまで上値追い、陰線トウバで当面の高値で③の抵抗線できる
この時点でも基本はドル押し目買い、押しで④のサポートでき、③の抵抗線抜けてから買い、④の下抜き注意。⑤のサポートできる。通常は様子見。⑤を抜けてから売り場探し、ここで⑦のラインが出来、これと平行の⑦-1を引く、
その後はトレンドラインがドル安に変わり、現在は⑥と⑦のサポートを切る。⑥は4月以降の111円～111円50銭のレンジ中間点。ここでの売りは控える。この先⑦に回帰したら、ドル安トレンドなので買いは軽めに⑦-1を上値目途にドル戻り売り。

LongTerm Japanese yen-Daily



P&F(50銭X3)

9月8日の底値107円32銭から11月6日の114円73銭までのドル上げで、一度も2円のドル下押しが無かったことを示す。その後、114円をスタートに1円50銭下落(112円50銭タッチ)で○印記入



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：JFX株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：関東財務局長（金商）第238号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1503